

# かわなかのおひる 映像の地下水脈 #15

去年今年書く棒の如きもの～虚子の心境ひの月(ニシムクサムライ)の最終土曜日にスタートした恒例のシリーズ「映像の地下水脈」は順調に回を重ねて15回に達しました。これに先立つ「映像アートサロン」10回を加えるとこの3年間で25回の上映を迎えようとしております。これもひとえに皆様さまの応援のたまものと平伏するばかりです…。

さて、今回のゲスト作品は、かつて東映大泉で活躍していた映画屋が、さまざまな理由からそれぞれの故郷へ帰ったものの、映画づくりへの夢を捨て難く、ふたたびチームを組んで作品を今かけるそのプロセスが、そのまま作品となった作品です。そのとき首謀者のカメラマンは、すでに癌に侵まれていたが、それでも作品は夢を追って完成する。人ひとりのつながりが産み出したこれは、いわばチームの思いを載せたプライベートドキュメンタリー…。

## ★今月のゲスト作品★

記憶と記録の間で / 堀美臣 + 鈴木敏明 / DV / 31分 / 2009年

構成 / 鈴木敏明, 撮影 / 堀美臣・林憲志・鈴木敏明, 照明 / 渡辺敏弘  
 福島県会津をロケーション地に選んだ撮影チームは、いざ撮影となると、何を撮ればいいのか迷走をはじめ。聖山の自然なのか、それぞれの記憶なのか、はたまたその地方に伝わる伝説なのか…。それらすべてに挑戦しようと迷走するプロセスが、羨ましいほどの友情で作品になった…!



## ★今月の上映作品★

新宿伝説2 マレンコフがいた / かわなかのおひる / 8ミリ・DV / 70分 / 2009年

新宿の真国宝と謳われた名物流しマレンコフが逝去した。ほくはかつて彼の45周年と50周年のパーティーを8ミリビデオで撮影していた。そこには新宿ゴールデン街のさまざまな顔が写っていた。田中小実昌さん、吉村平吉さん、AZママ、こどもマスター、桂マスター、唯唯ママ、唯唯庵ママ、ショー・ジママ。数えあげればキリがないけれど、いまは天上の人になった人たち…。酒とマレンコフとゴールデン街を愛したさまざまな顔が去来する。

◆会場: 渋谷イメージフォーラム

3F「寺山修司」(註: 高円寺から渋谷に移動しました)

◆日時: 11月28日(土) 19:00開映

◆会費: 1,000yen (註: 一回上映です。屋の回はありません)

◆問い合わせ: イメージフォーラム/渋谷区渋谷2-10-2/03-5766-0716

◆上映後にワンコインで酒話会を開催いたします。奮ってご参加ください。

◆山形国際ドキュメンタリー映画祭の「新宿伝説～渚ようこ 新宿コマ劇場ケバケバハリサイタル」は、おかげさまで劇場始まって以来の満員止りという盛況となりました。来春には新宿の映画館で一般公開を予定しております。ご期待ください。

◆11月27日～29日に、横浜美術館で開催される日米初期ビデオアート上映会で「キック・ザ・ワールド」が上映されます。22(日)にはトークにも参加しますので、こちらのほうもよろしくお願ひいたします。

